

政策企画雇用経済観光常任委員会 所管事項説明資料

1	組織の概要	・・・ 1
2	令和7年度当初予算の概要	・・・ 3
3	主要事項	
(1)	三重県観光振興基本計画（令和6年度～令和8年度）に基づく 令和7年度アクションプランについて	・・・ 9
(2)	質が高く持続可能な観光地づくりに向けた取組について	・・・ 13
(3)	国内誘客の推進について	・・・ 15
(4)	インバウンドの誘客について	・・・ 17
(5)	観光産業の生産性向上、人材確保・育成・定着に向けた取組について	・・・ 19
(参考)		
資料1	令和7年度 事務事業概要	
資料2	三重県観光振興基本計画（令和6年度～令和8年度）に基づく 令和7年度アクションプラン	
資料3	令和6年度観光産業の生産性向上推進事例集	

令和7年5月26日
観光部

1 組織の概要

【職員定数（令和7年4月1日現在）】

本	庁	42		
地	域	機	関	0
合	計	42		

観 光 部

〔 部長
生 川 哲 也 〕

副部長
高 濱 公 生
次長兼インバウンド誘客総括監
郡 巧

観光総務課

課長 竹 内 淳

観光戦略課

課長 伊 藤 寧 洋

観光振興課

課長 中 川 千 也

観光誘客推進課

課長 酒 井 哲 也

海外誘客課

課長 藤 田 雄 一

2 令和7年度当初予算の概要

【基本的な考え方】

令和7年度は、全国的に増加している旅行需要を県内に着実に取り込むため、国内外の旅行者から選ばれる三重県を目指し、持続可能な観光地づくりや戦略的な観光誘客に取り組めます。

本県における日本人延べ宿泊者数はコロナ禍前を超えているものの、外国人延べ宿泊者数は令和6年の日本全体の訪日外客数が過去最多を記録するなか、コロナ禍前まで回復していない状況にあります。

そこで、国内外の旅行者が快適に滞在できる環境を整えるため、宿泊施設の和洋室化等の取組を支援するとともに、バリアフリー観光の推進や高付加価値旅行者層のニーズに対応できる観光ガイド人材の育成、上質な宿泊施設の立地促進等に取り組むほか、観光産業における人材不足が深刻化している状況をふまえ、観光事業者の生産性向上や人材確保の取組を一体的に支援することにより「持続可能な観光地づくりに向けた受入環境の充実」に取り組めます。

また、海外OTA（オンライン旅行会社）等を活用した情報発信や、観光誘客に重点的に取り組む市場における観光・物産・食が一体となったプロモーション、奈良県や和歌山県と連携し紀伊半島として広域での海外からの高付加価値旅行者の誘客に取り組むとともに、より効果的なインバウンド誘客に向けた戦略を検討するなど「戦略的なインバウンド誘客の推進」に取り組めます。

さらに、大阪・関西万博を契機とした県内への誘客に向けたプロモーションや、首都圏等大都市圏の比較的消費単価の高い旅行者層の誘客に向けたプロモーションに取り組むとともに、第63回神宮式年遷宮に向けたさまざまな行事が始まることから、式年遷宮を見据えて部局横断的に取組の検討を進めるなど「国内誘客プロモーションの推進」に取り組めます。

【主な重点項目】

（1）持続可能な観光地の実現に向けた受入環境の充実

国内外の旅行者が快適に滞在できる環境を整えるため、宿泊施設の和洋室化やトイレの洋式化等を支援するとともに、熊野古道沿線のトイレの環境整備を支援するほか、バリアフリー観光の推進や高付加価値旅行者層のニーズに対応できる観光ガイド人材の育成や宿泊施設の誘致に取り組めます。また、全県DMO（観光地域づくり法人）である（公社）三重県観光連盟の基盤強化を通じて地域のDMO支援に取り組めます。さらに、DMO等を中心とした滞在型の観光コンテンツの磨き上げや提供・販売体制の構築等の取組を支援します。加えて、観光事業者の生産性向上や人材確保の取組を一体的に支援することにより「持続可能な観光地づくりに向けた受入環境の充実」に取り組めます。

(2) 戦略的なインバウンド誘客の推進

全国的に増加するインバウンドを本県に着実に取り込むため、海外O T Aや検索サイトにおける広告配信や、インフルエンサーの発信力を活用した情報発信、観光誘客に重点的に取り組む市場における観光・物産・食が一体となったプロモーション等に取り組みます。また、奈良県や和歌山県と連携し紀伊半島として広域での海外からの高付加価値旅行者の誘客に取り組むとともに、レップ（営業代理人）や商談会への参加等によるプロモーションに取り組みます。さらに、より効果的なインバウンド誘客に向けた戦略の検討を進めます。

(3) 国内誘客プロモーションの推進

大阪・関西万博を契機とした県内への誘客に向けたプロモーションや、首都圏等大都市圏の比較的消費単価の高い旅行者層の誘客に向けて、SNSやテレビ等の多様な手段を活用した観光プロモーションに取り組みます。また、観光需要の平準化を図るため、平日を対象とした体験コンテンツの利用促進等により県内周遊を進めるとともに、教育旅行の誘致促進に取り組みます。さらに、第63回神宮式年遷宮に向けたさまざまな行事が始まることから、部内の「式年遷宮を契機としたおもてなし推進チーム」や「式年遷宮に向けた庁内ワーキング」において、部局横断的に中長期的な取組の検討を進めます。

令和7年度 観光部関係当初予算総括表

単位：千円

区 分	令和6年度 当初予算額 (A)	令和7年度 当初予算額 (B)	前年度 比較増減 (B-A)	B/A
一般会計	2,459,837	(2,407,305) 2,302,908	(△52,532) △156,929	(97.9%) 93.6%
商工費	2,459,837	(2,407,305) 2,302,908	(△52,532) △156,929	(97.9%) 93.6%

※令和7年度当初予算額の()書きは令和6年度2月補正予算を含んだ額

持続可能な観光地の実現に向けた受入環境の充実

観光振興課
①②③059-224-3116

観光戦略課
④059-224-3115

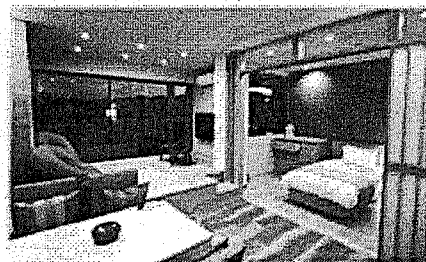
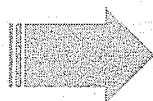
国内外の旅行者が快適に滞在できる環境を整えるため、宿泊施設の和洋室化やトイレの洋式化等を支援するとともに、バリアフリー観光の推進や高付加価値旅行者層のニーズに対応できる観光ガイド人材の育成や宿泊施設の誘致に取り組みます。

また、（公社）三重県観光連盟の基盤強化を通じて地域のDMO支援に取り組むほか、DMO等を中心とした滞在型の観光コンテンツの磨き上げや提供・販売体制の構築等の取組を支援します。さらに、観光事業者の生産性向上や人材確保の取組を一体的に支援します。

（１）旅行者を受け入れる環境の充実

①（一部新）観光客受入環境整備事業 647,577千円

- ・ 宿泊施設の和洋室化やトイレの洋式化及び世界遺産熊野古道伊勢路沿線のトイレの環境整備への支援
- ・ 宿泊施設の開発に関する専門的知見を有するアドバイザーを活用した、宿泊施設の誘致に向けた取組の実施
- ・ 高付加価値旅行者層のニーズに対応できる観光ガイド人材の育成
- ・ バリアフリー観光の推進に向け、旅行者の情報収集、手配・予約、移動など旅をトータルでサポートするため、旅行会社等の事業者の連携を促進



宿泊施設の和洋室化による高付加価値化改修

（２）DMOを中心とした持続可能な観光地マネジメントの確立

②（一部新）全県DMO経営基盤強化事業 203,305千円

- ・ 全県DMOである（公社）三重県観光連盟が観光地経営の司令塔としての役割を担い、地域DMOへの支援業務を着実に実施するための基盤強化
- ・ 三重県観光連盟が官民連携で実施するインバウンド向けプロモーション及び国内向けプロモーションの取組を支援

（３）三重の特色を生かした滞在型観光の推進

③（一部新）拠点滞在型観光推進事業 37,026千円

- ・ DMO等を中心とした地域における歴史・文化や自然、食等の三重ならではの観光資源を生かした滞在型の観光コンテンツの磨き上げや、提供・販売体制の構築などの取組を支援



“魚まち”の生節加工工場の見学
（紀北町）



伊賀くみひもでの香袋作り体験
（伊賀市）

（４）観光産業の生産性向上・人材確保

④（一部新）観光産業支援事業 41,991千円

- ・ 観光産業における人材不足等の課題解決に向け、事業者向けのセミナーや個別コンサルティングの実施により、観光事業者の生産性向上・人材確保に向けた取組を一体的に支援
- ・ 観光産業の魅力向上に向けた県内観光事業者の先進的な取組等の発信



観光事業者向けセミナーの実施

戦略的なインバウンド誘客の推進

海外誘客課
①②③④⑤⑥⑦⑧059-224-2847

観光戦略課
⑦059-224-3115

全国的に増加するインバウンドを本県に誘客するため、海外OTA（オンライン旅行会社）やインフルエンサーの発信力を活用した情報発信を強化するとともに、観光誘客に重点的に取り組む市場において観光・物産・食が一体となったプロモーションを実施します。また、奈良県や和歌山県と連携し紀伊半島として広域での高付加価値旅行者の誘客に取り組みます。さらに、より効果的なインバウンド誘客に向けた戦略の検討を進めます。

（１）インバウンドプロモーションの推進

①（一部新）プラス三重旅促進事業 78,042千円

（※R6年度2月補正予算含みベース）

- ・ゴールデンルートや近隣県へ旅行を計画している旅行者に向けた海外OTAや検索サイトによる広告配信の実施
- ・大阪・関西万博の機会を捉えた万博会場・関西国際空港での観光PR

②（新）海外誘客推進プロジェクト事業 95,635千円【一部】

- ・観光誘客に重点的に取り組む市場における観光・物産・食が一体となったプロモーション
- ・レンタカーでの県内周遊の促進に向けたプロモーション
- ・インフルエンサーの発信力を活用した情報発信

③（一部新）高付加価値旅行者層誘致促進事業 5,000千円【一部】

- ・フランス市場からの福利厚生旅行等の誘致に向けた、観光セミナーの実施及び旅行会社の視察の受入れ

（２）MICE・産業観光の推進

④（一部新）海外MICE誘致促進事業

34,075千円

- ・MICE誘致促進補助金を拡充し、新たに海外企業の会議と報奨旅行を対象に追加
- ・海外から企業関係者が参加する会議や報奨旅行の誘致に向けたモデルコースの造成と情報発信

⑤（一部新）産業観光推進事業 13,568千円

- ・海外企業の研修・視察旅行の誘致促進及び県内での宿泊に向けたプロモーションと視察受入企業の裾野拡大



伝統工芸品（伊勢木綿）
工場の視察

（３）海外の高付加価値旅行者層の誘客促進

⑥（一部新）高付加価値旅行者層誘致促進事業（再掲）

60,291千円【一部】

- ・欧州レップ（営業代理人）によるプロモーション
- ・奈良県、和歌山県等と連携した、紀伊半島など広域でのプロモーション



旅行会社との商談会



フランスでのトップセールス



海外の旅行会社による県内視察

（４）データマーケティングの充実

⑦ 観光データ調査事業 60,620千円（※R6年度2月補正予算含みベース）

- ・位置情報を活用した人流データ等のリアルタイム性の高いデータをもとにインバウンドの動態・消費動向を分析
- ・県内宿泊施設に対するインバウンドの受入状況及び多言語対応が可能な人材の配置状況等の受入環境の調査・分析

（５）インバウンド誘客に関する戦略の検討

⑧（新）海外誘客推進プロジェクト事業（再掲）

12,611千円【一部】

- ・効果的なインバウンド誘客に向けた戦略の検討

国内誘客プロモーションの推進

観光誘客推進課
①②③059-224-2802

観光振興課
④059-224-3116

大阪・関西万博を契機とした県内への誘客に向けた企画きっぷや旅行商品のプロモーションを実施するとともに、首都圏等大都市圏の比較的消費単価の高い旅行者層の誘客に向けて、SNSやテレビ等の多様な手段を活用した観光プロモーションに取り組みます。

また、観光需要の平準化を図るため、平日を対象とした体験コンテンツの利用促進等により県内周遊を進めるとともに、教育旅行の誘致促進に取り組みます。

さらに、第63回神宮式年遷宮に向けたさまざまな行事が始まることから、部局横断的に中長期的な取組について検討します。

(1) 大規模イベント等を契機とした観光誘客の推進

① 観光誘客促進事業 87,028千円

- ・大阪・関西万博を契機として県内への誘客を促進するため、交通事業者と連携した企画きっぷと旅行商品の販売促進に向けたプロモーションを実施
- ・株式会社ポケモンと連携した県内への観光誘客及び周遊促進
- ・県内において撮影された映画やドラマ等のロケ地情報や周辺の観光地情報の発信



(2) 大都市圏における観光プロモーションの推進

② 大都市圏プロモーション事業 122,702千円

- ・首都圏を中心とした大都市圏の比較的消費単価の高い旅行者層の誘客に向けた、SNSやテレビ等の多様な媒体を活用したプロモーションの展開

(3) 観光需要の平準化と県内周遊の促進

③ 観光需要平準化促進事業 85,198千円 (※R6年度2月補正予算含みベース)

- ・平日を対象とした体験コンテンツの利用促進や高速道路を活用した県内周遊プランの実施
- ・県外からの教育旅行の誘致に向け、旅行会社へのセールスやポータルサイトを活用した情報発信を実施

(4) 第63回神宮式年遷宮に向けた中長期的な取組の始動

- ・第63回神宮式年遷宮に向けたさまざまな行事が始まることから、来県者をおもてなしし取組の効果が全県に波及するよう、「式年遷宮を契機としたおもてなし推進チーム」や「式年遷宮に向けた庁内ワーキング」において、部局横断的に中長期的な取組について検討

④ (一部新) 観光客受入環境整備事業 17,870千円【一部】(再掲)

- ・地域における第63回神宮式年遷宮に向けた機運醸成や受入体制の強化の取組や「伊勢志摩観光MaaS推進協議会」が実施する観光MaaSの取組を支援

(1) 三重県観光振興基本計画（令和6年度～令和8年度）に基づく 令和7年度アクションプランについて

○ アクションプランの位置づけ

三重県観光振興基本計画の実効性を高めるツールとして、令和6年度に引き続き作成・活用します。

○ アクションプランの構成

①主目標・副目標をKGIとし、「目標値・実績」、「令和7年度目標達成に向けた方向性」を設定

②①を達成するために3つの施策の柱を定め、施策の柱の具体的な戦略ごとに「目標値（KPI）・実績」、「令和6年度のKPIの達成状況及び評価」、「令和7年度のKPI達成に向けた重要達成要因（KSF）」、「令和7年度 of 取組の方向性」、「令和8年度の取組の方向性」を設定

※戦略目標であるKPIを達成することでKGIを達成する仕組み

目 標 項 目 （KGI）		R6目標	R6実績	達成率
主目標	観光消費額	5,130億円	(集計中)	—

目 標 項 目 （KGI）		R6目標	R6実績	達成率
副目標1	観光紹介意向率 ※県「観光客実態調査」の「紹介意向」にて、「大変そう思う」と回答した人の割合	36.5%	33.5% ※速報値 （「大変そう思う」「そう思う」「やや思う」の合計は83.5%）	91.8%
副目標2	観光従事者満足度	55%	60.2%	109.5%
副目標3	観光がプラスの効果をもたらすと捉えている地域住民の割合	71.5%	54.9%	76.8%

①質が高く、持続可能な観光地づくり

戦 略		R 6 戦略目標 (KPI)	R 6 実績 (達成率)	達成状況及び評価	令和7年度の主な取組の方向性
1-1-1	持続可能な観光地マネジメント	持続可能な観光地域づくりに取り組む地域数：累計1地域	累計1地域 (100.0%)	・持続可能な観光地域づくりに取り組む地域DMOを支援できるよう、引き続き（公社）三重県観光連盟の基盤強化が必要	・全県DMOである（公社）三重県観光連盟が観光地経営の司令塔としての役割を担い、地域DMOへの支援業務を着実に実施するための基盤強化を実施
		先駆的DMOの認定数：0	0 (—)		
1-1-2	観光の質の向上による高付加価値化	日本人宿泊者観光消費単価 ：28,000円	29,538円 (105.5%) ※速報値	・現状として目標値を上回っているものの、宿泊料等消費者物価指数の上昇や円安の影響等により嵩上げされている側面もあることから、引き続き、高付加価値旅行者の多様なニーズをふまえて観光基盤や旅行体験の充実を図ることが必要	・「上質な『みえ旅』宿泊施設立地補助金」を活用した宿泊施設の誘致活動の実施 ・高付加価値旅行者層のニーズに対応できる観光ガイド人材育成のための実践的講座の実施
		外国人観光消費単価 ：47,300円	63,000円 (133.2%)		
1-1-3	三重の特色を生かした滞在型観光の推進	平均宿泊日数 ：1.26泊	1.19泊 (94.4%) ※速報値	・現状値として目標値を下回っており、かつ、前年（1.23泊）よりも低下していることから、旅行者の周遊促進に向けた滞在価値の創出に向けた支援が必要	・滞在型観光を推進するため、地域のDMO等による滞在価値向上に向けた取組や旅行商品の提供・販売体制の構築等を支援
1-1-4	旅行者を受け入れる基盤の整備	宿泊者満足度 ：46.6%	48.6% (104.3%) ※速報値	・リピート率が目標値を下回っている。「じゃらん観光国内宿泊旅行調査2024」では「現地へのアクセスが良かった」と回答した人の割合は47.4%と低く、全国平均との差が最も大きくなっている（▲6.2）ことから、二次交通の充実をはじめ、三重県を訪れる旅行者に快適に観光を楽しんでもらうための受入環境の充実や基盤の整備が必要	・宿泊施設の和洋室化やトイレの洋式化及び世界遺産熊野古道伊勢路沿線のトイレの環境整備の支援 ・第63回神宮式年遷宮に向けた機運醸成や受け入れ態勢を強化 ・伊勢志摩地域の市町・DMO・交通事業者等と連携して、観光型MaaSの運用支援
		県外宿泊者5回以上リピーター率 ：61.7%	58.9% (95.5%) ※速報値		



←戦略1-3 “魚まち”の生節加工工場の見学（紀北町・左）
伊賀組紐での香袋作り体験（伊賀市・右）

戦略1-4 宿泊施設の和洋室化による高付加価値化改修→



②戦略的な観光誘客の推進

戦 略		R 6戦略目標 (K P I)	R 6実績 (達成率)	達成状況及び評価	令和7年度の主な取組の方向性
2 1 1	戦略的な観光 マーケティングの推進	観光地域マーケティング戦略を策定したDMOの数：1	1 (100.0%)	・現状として目標を達成している。引き続き、全県DMOである(公社)三重県観光連盟が地域DMOに対してコンサルティング支援を行うことが必要	・全県DMOである(公社)三重県観光連盟が地域DMOの観光地域マーケティング戦略の策定・見直しについてのコンサルティング支援を実施 ・観光統計やデータマーケティング研修の実施により、県内のデータリテラシーを高め、観光施策のEBPMを推進
2 1 2	国内観光誘客 の推進	日本人延べ宿泊者数 ：821万1千人	845万3千人 (102.9%) ※速報値	・日本人延べ宿泊者数は目標を達成している状況ではあるが、R7、R8の目標値(904万人、995万6千人)には達していないので、引き続き、首都圏等大都市圏向けプロモーションや大規模イベントの機会を生かした誘客の取組が必要	・大阪・関西万博を契機に、交通事業者と連携した企画きつぷと旅行商品の販売促進に向けたプロモーションの実施 ・首都圏を中心とした大都市圏の旅行者層の誘客に向けた、SNSやテレビ等の多様な媒体を活用したプロモーションの展開 ・株式会社ポケモンと連携した県内への観光誘客及び周遊促進の実施
		宿泊を伴う教育旅行 で県外から訪れた学 生数 ：69,000人	38,459人 (55.7%)	・宿泊を伴う教育旅行で県外から訪れた学生数は、生徒数減少に加え、コロナ禍で増えた県内学校や近隣の中部圏の実績減により、目標値を下回ったため、県外からの教育旅行誘致に向けて、関西圏・首都圏の学校などターゲットを明確にした発信が必要	・県外からの教育旅行の誘致に向けた、旅行会社へのセールスやポータルサイトを活用した情報発信の実施
2 1 3	インバウンド 誘客/MICE・ 産業観光の推 進	外国人延べ宿泊者数 ：38万9千人	24万人 (61.6%) ※速報値	・外国人延べ宿泊者数について令和元年との比較では、回復率は61.6%に留まっているため、全国的に増加しているインバウンドを本県に取り込んでいくことが必要 ・国際会議誘致については、今年度の開催結果は3件だったが、補助金の運用見直し等の取組により令和7年に開催予定の学会については令和7年3月末時点で9件の開催見込み。これら会議の円滑な開催に向けた支援を行いつつ、大学との連携やレップ等を活用しながら、今後も引き続き国際会議等の誘致の取組が必要	・ゴールデンルートや近隣県へ旅行を計画している旅行者に向けた海外OTAや検索サイトによる広告配信の実施 ・観光誘客に重点的に取り組む市場における観光・物産・食が一体となったプロモーションの実施 ・奈良県・和歌山県と連携し紀伊半島として広域での高付加価値旅行者を誘致 ・より効果的なインバウンド誘客に向けた戦略の策定
		国際会議開催件数 ：9件	3件 (33.3%)		

③魅力的な観光産業の確立

戦 略		R 6 戦略目標 (K P I)	R 6 実績 (達成率)	達成状況及び評価	令和 7 年度の主な取組の方向性
3 1	観光産業の 生産性向上	生産性向上に取り 組んだ事業者 数：累計 10 者	累計 64 者 (640.0%)	・現状として目標値を上回ったものの、アンケート調査 において生産性向上に取り組んでいない事業者のうち、 R7年度取組の意向を示している事業者は約4割にとど まっているため、意識向上に向け機運を醸成していくこ とが必要	・観光産業における人材不足等の課題解決に向け、事業者向 けのセミナーや個別コンサルティングの実施により、観光事 業者の生産性向上・人材確保に向けた取組への一体的な支援 ・観光産業の魅力向上に向けた県内観光事業者の先進的な取 組等の発信
3 2	観光産業を 支える人材 の確保・育 成・定着	待遇改善に取り組 んだ事業者数 ：累計 10 者	累計 46 者 (460.0%)	・現状として目標値を上回ったものの、アンケート調査 において待遇改善に取り組んでいる事業者は約4割にと どまっており、意識向上に向け機運を醸成していくこと が必要	



↑戦略 2-3
伝統工芸品（伊勢木綿）工場の視察



↑戦略 2-3
フランスでのトップセールス



↑戦略 2-3
海外の旅行会社による県内視察



↑戦略 3-1、3-2
観光事業者向けセミナーの実施

(2) 質が高く持続可能な観光地づくりに向けた取組について

旅行者の周遊・滞在を促進するため、三重ならではの観光資源を活かした地域の滞在型観光の取組を支援するとともに、三重県観光連盟の基盤強化を通じて地域DMO（観光地域づくり法人）のデータマーケティングや国内向けプロモーション等の取組を支援します。

また、インバウンド等高付加価値旅行者のニーズに対応した宿泊施設や観光施設の受入環境を充実させるとともに、上質な宿泊施設の誘致に取り組みます。

① 三重自慢の観光資源を活用した滞在価値創出支援

三重の自然、歴史・文化、食などの観光資源を活かした観光コンテンツの磨き上げや、旅行商品の提供・販売体制の構築、地域ブランディングに向けたDMO等の取組を支援します。

- R6年度から継続支援する8団体には、Webページの作成や旅行商品のテスト販売、ファムトリップ（視察旅行）等の取組を支援
- 新たに滞在型観光に取り組むDMO等に対し、専門家派遣による支援を実施（全10回）

【R6年度から支援する8団体】

- ・ 桑名エリアマネジメント「“みなと文化”の町・桑名」
- ・ グリーンクリエイティブいなべ「いなべ、暮らしを旅する」
- ・ 四日市観光協会「ナイトタイムエコノミー」
- ・ 菰野町観光協会「心とカラダが整うまち」
- ・ DMOカメヤマモデル「伊勢別街道エリアに立ち寄り“ゆっくりお伊勢参り”」
- ・ 伊賀上野DMO「“忍者だけじゃない”伊賀の魅力と奥深さを“香り・匂い”で感じ、想像する旅」
- ・ 紀北町観光協会「熊野古道の旅人を迎えてきた町のおもてなし」
- ・ ツーリズムみはま「熊野古道を歩きリトリートする旅」



伊賀組紐を使った香り袋作り 於:伊賀市



紀州備長炭を使った炭火懷石料理 於:紀北町

② 三重県観光連盟の基盤強化

全県DMOとしてのあり方検討の実施により、R6年度から、三重県観光連盟が主体となってアジア向けインバウンド誘客及び地域DMO等への支援を担っています。加えて、R7年度からは、データマーケティングや国内向けプロモーションを着実に実施できるよう三重県観光連盟の基盤強化を図ります。

I インバウンド誘客

台湾・タイの重点市場に加え、香港・シンガポールを対象として、現地レップ（営業代理人）の活用や商談会への出展、海外メディアやインフルエンサーを活用した情報発信等により誘客に取り組みます。

II 地域DMO等への支援

地域DMO等のデータに基づく事業運営体制の構築及び人材育成のため、研修会の開催や専門家派遣等により支援します。

III データマーケティング

より効果的な観光客への誘客アプローチを実現するため、宿泊者等のデータ収集・分析を行うとともに、データ分析にかかる学習会開催や専門家派遣等により地域DMO等のデータ活用を支援します。

IV 国内向けプロモーション

三重県観光連盟が持つ官民連携組織ならではのネットワークやスケールメリットを活かし、観光連盟の会員による共同プロモーションを実施します。

(2) 質が高く持続可能な観光地づくりに向けた取組について

③ インバウンドを含む誰もが快適に過ごせる受入環境の充実

I インバウンド誘客等ユニバーサルツーリズム推進補助金

インバウンドや高齢者、障がい者など、誰もが快適に観光を楽しめるよう、受入環境の整備を支援します。

- 補助対象者：宿泊施設、観光施設、土産物店、観光案内所
- 募集期間：R7年5月9日(金)～6月20日(金)

①インバウンド対応（大規模整備）	補助率・補助限度額
宿泊施設の部屋の和洋室化、トイレの洋式化・高機能化、外国語表示サインの充実 等	補助率1/2 下限2,000万円～ 上限5,000万円
②インバウンド対応（小規模整備）	補助率・補助限度額
宿泊施設の部屋の和洋室化、トイレの洋式化・高機能化、外国語表示サインの充実 等	補助率1/2 下限500万円～ 上限1,000万円
③バリアフリー・ストレスフリー対応	補助率・補助限度額
トイレのバリアフリー化、スロープの設置、悪路の舗装、異常気象対策、休憩施設・憩い施設の整備 等	補助率1/2 下限100万円～ 上限500万円

II バリアフリー観光の推進

バリアフリー観光の推進のため、研修会の開催や情報発信の充実、旅行会社等との連携促進に取り組みます。

- 「観光施設における心のバリアフリー認定※」取得のための研修会を年3回開催予定

※バリアフリーに関するソフト面での対応や情報発信に積極的に取り組んでいる施設を認定し、公表する制度
県内施設の認定数：R7.3末現在 113件（全国6位）



- 宿泊施設やトイレのバリアフリー調査を実施し、Webサイトで情報発信
- 伊勢志摩バリアフリーツアーセンターと旅行会社等が連携し、モデルツアーを検討

④ 高付加価値旅行者に対応した受入環境の整備

I 上質な宿泊施設の誘致活動を展開

高付加価値旅行者のニーズを満たす上質な宿泊施設の立地促進のため、宿泊施設立地補助金を活用した誘致活動を実施します。また、候補地リストの提供や開発事業者による視察対応、専門アドバイザーへの相談を通じた開発課題への対応に取り組みます。

上質な「みえ旅」宿泊施設立地補助金（R5創設）		県南部地域（R6創設）
補助対象地域	県全域	県南部地域（伊勢市・鳥羽市・志摩市除く）
主な要件	①投下償却資産額及び土地造成費用の合計額5億円以上 ②増加する常用雇用者10名以上 ③10室以上の客室数、うち5室以上は50㎡以上の専有面積を有する ④地域産品を活用した飲食施設を有する等	①3億円以上 ②5名以上 ③5室以上の客室数、うち2室以上は50㎡以上
補助率	投下償却資産額及び土地造成費用の10%（ただしDMOと連携した事業の場合20%）	15%（DMOと連携25%）
補助限度額	5億円	5億円（常用雇用者5名以上10名未満にあっては2.5億円）

II 高付加価値旅行者に対応できる観光ガイド人材の育成

R6年度に引き続き、高付加価値旅行者に対応できる観光ガイド人材を育成するため、「三重県観光ガイド養成プログラム」を実施するとともに、ガイドの活躍機会を提供します。

（R6年度プログラム参加者46名、修了認定者14名）

- 旅行会社とガイドのマッチング
- 観光協会におけるガイドの紹介
- 紀伊半島3県でガイド人材の相互活用を推進



フィールドワーク研修 於：紀北町

(3) 国内誘客の推進について

大都市圏からの誘客を図るため、多様な手段を活用した認知度向上を促す観光プロモーションを展開するとともに、大規模イベントを契機とした誘客促進や平日の観光需要の喚起に向けた周遊促進などに取り組みます。

①大規模イベントを契機とした誘客促進

大阪・関西万博や第63回神宮式年遷宮など、大規模イベントを契機とした三重への誘客を促進するためのプロモーション等を実施します。

<大阪・関西万博>

県内への誘客、周遊を促進するため、交通事業者等との連携による企画きっぷや旅行商品の販売促進に向けたプロモーションを実施

<第63回神宮式年遷宮>

地域と連携して来県者をおもてなしし、取組の効果が全县に波及するよう、「式年遷宮を契機としたおもてなし推進チーム」や「式年遷宮に向けた庁内ワーキング」において、中長期的な取組について検討

②大都市圏プロモーションの実施

首都圏等大都市圏からの誘客を図るため、交通広告の掲出やSNSでの発信など、多様な手段を組み合わせた認知度向上を促す観光プロモーションを展開します。

<効果的な露出・認知度向上>

- 交通広告の掲出
- SNS等を活用した情報発信
- メディア等向け観光説明会
市町や県内観光事業者等と連携し、在京メディアやインフルエンサー、旅行会社等を対象としたPRイベントを東京で開催予定（夏頃）
- テレビ等のメディアを活用した情報発信
三重テレビ旅番組「新・ええじゃないか〜いい旅 いい発見〜」（関東・関西などの計10局で放送）等において観光地を紹介



交通広告イメージ

<旅行検討者・旅行会社への訴求>

- 「ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸」への出展(9月・愛知)

③観光需要平準化の促進

平日の観光需要の喚起に向け、周遊促進キャンペーンなどを実施します。

<三重のあそび体験利用促進事業>

県内体験施設や体験プログラムの利用促進のため、平日利用を対象にした体験料金割引キャンペーンを実施（6月～）

<みえ周遊ドライブプラン事業>

県内への誘客や周遊、消費促進のため、NEXCO中日本と連携し、高速道路を活用した周遊プランの造成とプロモーションを実施（夏頃）

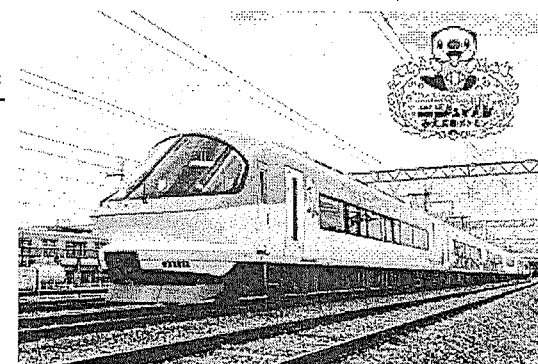
<教育旅行誘致促進事業>

県外からの教育旅行の誘致を促進するため、プログラム造成、旅行会社や学校へのセールス、ポータルサイトの充実等、目的地としての魅力を発信

④みえ応援ポケモン「ミジュマル」連携事業による県内周遊促進

県内市町への誘客及び周遊を促進するため、(株)ポケモンや県内交通事業者等と連携し、みえ応援ポケモン「ミジュル」とコラボしたスタンプラリーを実施します。

また、三重県、(株)ポケモン、近鉄日本鉄道(株)の3者が連携し、R7年2月より近鉄特急「伊勢志摩ライナー」がミジュマルデザインになった「ミジュマルライナー」を運行しています。



近鉄特急「ミジュマルライナー」

(4) インバウンドの誘客について

効果的なインバウンド誘客に向けた戦略を策定するとともに、海外O T A（オンライン旅行会社）やインフルエンサーの発信力を活用した情報発信を強化します。さらに、インバウンド誘客に重点的に取り組む市場において観光・物産・食が一体となったプロモーションを実施します。

また、高付加価値旅行者の誘客に取り組むとともに、D M O（観光地域づくり法人）等、地域が主体となって進める高付加価値な観光地づくりの取組を支援します。

加えて、G 7 開催実績、豊かな自然・文化、産業集積など三重県の強みを生かした国際会議や企業が実施する会議、報奨・研修旅行といったM I C E誘致と産業観光の推進に取り組みます。

①インバウンドプロモーションの推進

I 効果的なインバウンド誘客にむけた戦略の策定

インバウンドを回復させるため、他地域の好事例やデータ分析等に基づき、重点的に取り組むべき市場や効果的なプロモーション手法などについて戦略の策定を進めます。

II ゴールデンルート等からの誘客

ゴールデンルートを周遊する旅行者等に対して県内への周遊・宿泊を促進するため、海外O T Aや検索サイトを活用した情報発信に取り組みます。

III 観光・物産・食が一体となったプロモーションやインフルエンサーを活用した情報発信

インバウンド誘客に重点的に取り組む市場に向け、観光・物産・食が一体となり、インフルエンサー・旅行会社の招請、観光セミナー等の取組を行います。

IV 大阪・関西万博を契機とした誘客

「EXPO2025関西観光推進協議会」に参画し、万博会場や関西国際空港でのP Rブースの出展により、外国人旅行者に対して県内の観光情報の発信に取り組みます。

V F 1を契機とした誘客

F 1日本グランプリを目的に来訪する外国人旅行者に対し、三重県への周遊・宿泊を促進するため、引き続き旅行会社等と連携して旅行商品の造成や情報発信等に取り組みます。

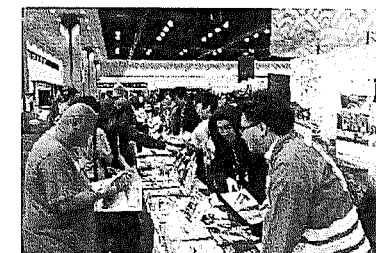
VI 三重県観光連盟・日本政府観光局（J N T O）等との連携

三重県観光連盟が事業者と連携して取り組む、商談会や旅行博への参加、営業代理人（レップ）の設置などによるアジア市場からの誘客、S N S等オンラインを活用した情報発信を支援するほか、J N T Oと連携した情報発信等に取り組みます。



Discover Mie, Journey into Myth

海外OTAサイト



旅行博出展の様子
於：米国・ロサンゼルス

(4) インバウンドの誘客について

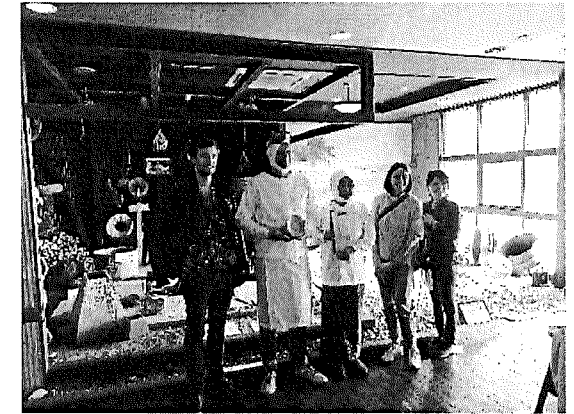
②海外の高付加価値旅行者の誘客促進

I 高付加価値旅行者の誘客

三重県の観光資源が強みを持ち、経済波及効果が大きいと期待される欧米を中心とした市場の旅行会社を対象にファムトリップ（視察旅行）を実施するとともに、フランスに営業代理人（レップ）を設置し、旅行会社へのセールスや商談会、旅行博への出展等を活用した誘客に取り組みます。

II 地域が取り組むインバウンド誘致への支援

観光庁による「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」のモデル観光地に選定されている伊勢志摩地域を中心とした取組を支援するとともに、同じく国のモデル観光地に選定されている奈良県・和歌山県とも連携を図り、紀伊半島一体のブランド化と周遊促進に取り組みます。



欧州旅行会社のファムトリップ受入
（海女小屋体験施設の視察）
於：志摩市

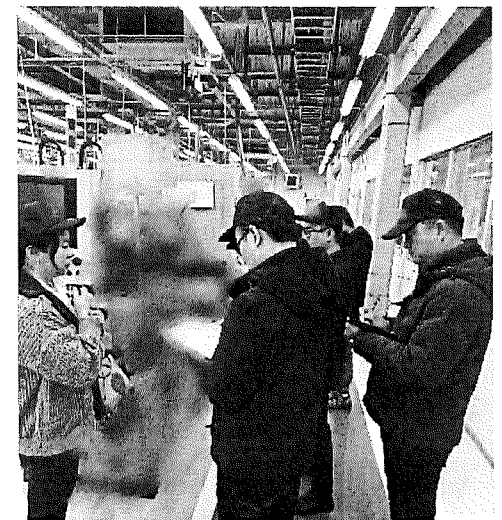
③MICE誘致・産業観光の推進

I MICEの誘致促進

三重県の強みを生かした国際会議や、企業が実施するミーティング、報奨・研修旅行といったMICEの誘致を進めるため、首都圏と関西圏における営業活動やモデルコースの造成、補助制度の対象拡充を行い、県内外のMICE主催者へのセールス活動に取り組みます。

II 産業観光の推進

三重県産業観光推進協議会と連携して、海外からの企業関係者の誘客促進と県内での滞在長期化、産業観光の先進地としてのブランド化に取り組むとともに、産業観光コンテンツを活用した高付加価値旅行者の誘客にも取り組みます。



産業観光
（自動車部品製造工場の視察）
於：桑名市

(5) 観光産業の生産性向上、人材確保・育成・定着に向けた取組について

観光産業が抱える生産性の低さや人材不足等の課題解決に向け、専門家による個別コンサルティングの実施や、ワークショップ、セミナーの開催等により、生産性向上及び人材確保・育成・定着に一体的に取り組むとともに、それらの取組を広く情報発信し、観光産業の魅力向上に取り組めます。

①観光産業の生産性向上支援

I 個別コンサルティング

県内の観光事業者を対象に、専門家を派遣し伴走型の個別コンサルティングを行い、マーケティングの強化、IT化・機械化による業務効率化など、観光事業者の生産性向上の取組を支援します。

●対象

県内で宿泊施設、観光施設、土産物店、体験事業のいずれかを営む観光事業者

①単独の観光事業者

②グループ(複数の事業者で構成又は1事業者で複数の施設を有する場合)

●募集期間：R7年4月9日(水)～5月14日(水)

●支援件数(予定・選定中)

- ・R6年度から継続して支援する事業者：2～3者
- ・R7年度から新たに支援する事業者：5者

II ワークショップ開催

県内の観光事業者を対象に、グループワーク等を通じて、専門家派遣までは必要とせず、すぐに実践できる生産性向上の取組導入を支援します。

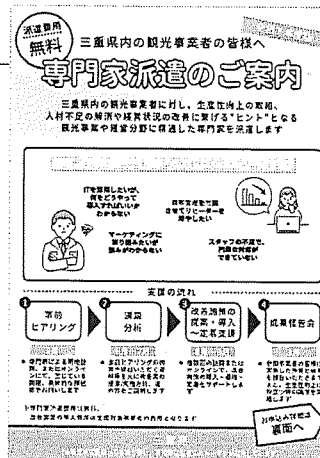
●対象

①県内で宿泊施設、観光施設、土産物店、体験事業のいずれかを営む観光事業者

②DMO、観光協会、商工会議所等の観光関連事業者

●募集期間(予定)：R7年5月20日(火)～6月30日(月)

●支援件数(予定)：15者



個別コンサルティング募集案内

②観光産業の人材確保・育成・定着支援

I 個別コンサルティング

県内の観光事業者を対象に、専門家を派遣し伴走型の個別コンサルティングを行い、シフト改善による人員の適正配置や人事評価制度による人材育成など、観光事業者の人材戦略構築を支援します。

●対象

県内で宿泊施設、観光施設、土産物店、体験事業のいずれかを営む観光事業者

●募集期間(予定)：R7年6月中旬～7月末

●支援件数(予定)：7者

II セミナー開催

(1) 講義型セミナー

観光事業者や関係機関(DMOや観光協会、商工会議所等)を対象に、観光産業の人材確保・育成・定着に関する講義型のセミナーを開催します。

(2) 参加型セミナー

観光事業者等を対象に、観光事業者が抱える人材の確保・育成・定着における共通課題をテーマ設定し、その課題解決に取り組む参加型セミナーを全2回開催します。

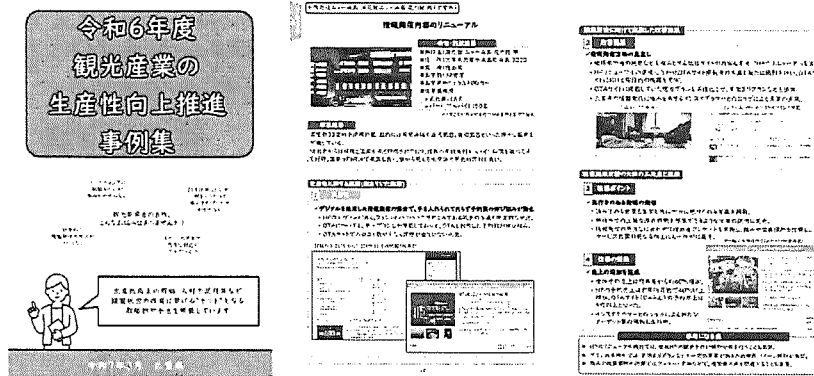
(5) 観光産業の生産性向上、人材確保・育成・定着に向けた取組について

③ 県内観光事業者への取組の共有

個別コンサルティングやワークショップを通じて導入した生産性向上や人材確保・育成・定着の取組について、県内観光事業者への共有を図り、取組の機運を醸成します。

I 事例集の作成

生産性向上及び人材確保・育成・定着に関する個別コンサルティングやワークショップでの取組を1冊の事例集に取りまとめ、事例の横展開に活用します。



令和6年度事例集

II 成果報告会の開催

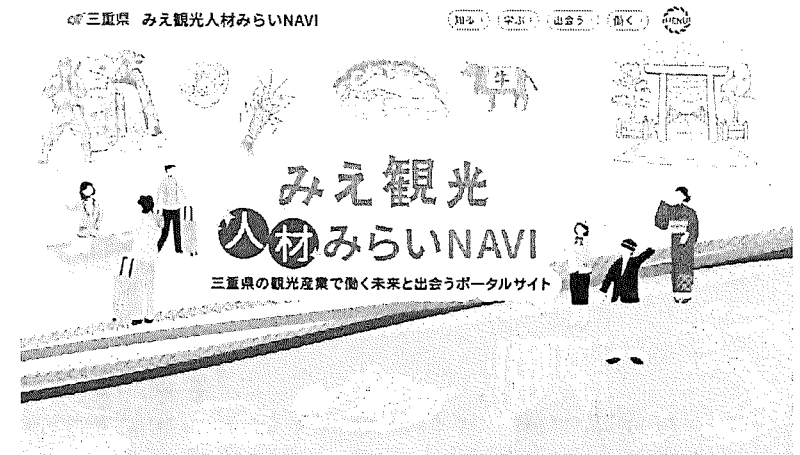
生産性向上及び人材確保・育成・定着の取組に対するリアルな声を聞ける場として成果報告会を開催します。



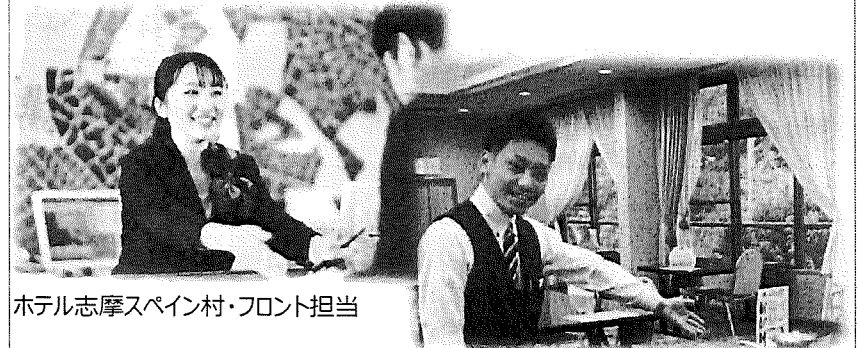
令和6年度成果報告会
※オンラインとのハイブリッド開催

④ 観光産業の魅力発信

R6年度に観光産業の魅力発信を目的に立ち上げたポータルサイト「みえ観光人材みらいNAVI」を活用し、生産性向上、人材確保・育成・定着に取り組む事業者に関する記事を作成することで、観光産業の魅力向上に対する県全体での取組を広くPRします。



三重の観光産業で働く方を紹介(インタビュー記事(一部動画))



ホテル志摩スペイン村・フロント担当

湯の山温泉 グリーンホテル・レストランマネージャー